

車いすけん玉にチャレンジ中

徳政 宏一

『けん玉』日本人なら知らない人はいない、日本の玩具です。実は私の地元広島県廿日市市が発祥の木製玩具です。現在、けん玉は世界的大ブームとなって全世界で300万人がけん玉をしていると言われています。技もけん玉も今では海外から逆輸入される時代。昔の民芸品のイメージはまったくありません。新しい物好きの私、まずはチャレンジしてみようと思いアメリカ産のけん玉を即購入。しかし難しい！けん玉の基本は膝にあります。車いす使用者で握力も弱く、膝も使えない。けん玉に最も適さない状況（笑）しかし『私のモットーは絶対諦めない、出来なければ出来るまで考えて、工夫してやり続ける』事です。障害は千差万別です。趣味も千差万別、楽しみ方も千差万別です。色々なやり方でけん玉をする事もOK、最近の綺麗なけん玉をインテリアにするもOK。車いすでチャレンジしたい事、その一つがけん玉だったという事です。最近では小さい子どもや高齢者、病院でリハビリテーションの一つとしてけん玉の指導にも呼んで頂けるようになりました。車いす陸上を事実上引退してその後に始めたけん玉。いまはこの難しい日本の玩具に夢中で毎日1時間～2時間何千・何万回と繰り返し、技を磨いています。皆さんもけん玉は選択肢の一つです。皆さんに出来る事、ほんの少し無理をすれば出来そうな、ワクワクする事があればチャレンジしてみたいと思います



けん玉の持ち帰り中



KendamaWorldCup2015



ハノフマイル石田さんとけん玉ショット



館内けん玉講習の様子